

自由詠

緑の中で  
埋もれていた  
公孫樹  
鮮やかに黄色を纏い  
自己主張

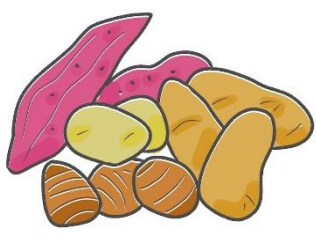
田上好江



題詠『芋』

「芋はもう食べたくない」  
という父を  
私たちは笑ったが  
芋類に人類は  
どれだけ救われたのだろう

高原美智子



季節の  
声がして  
目をやれば  
高い空に  
憂い帯びた雲

岡本まこ子

日ざしが軽い  
目を閉じて 明々々に身をおくこと  
暖かさに包まれる  
晩秋の  
つかの間の幸せな時間

宮島かつえ

煮りんごの食感を  
少し固めに仕上げたくて  
冷蔵庫の吟醸酒を  
ちよこっと 入れた。  
夫、固まる・・・



杉下 啓恵

フライパンに塩を振り  
厚さ一センチ 輪切りの  
さつま芋を 乗せて焼く  
高齢ながら  
一人暮らしの父の手料理

かよへえ



我が家の畑のサツマイモ  
友の手で  
バター香る甘いお菓子に。  
スイートポテトとの  
衝撃の出会い

杉下 啓恵

